

【1】償却資産申告書(償却資産課税台帳)の書き方

1. 住所
 申告書送達先の郵便番号・住所及び電話番号を記入してください。
 個人の方で書類を営業所宛に送付したほうがよい場合は営業所の住所を記入してください。
 また、ビル等に入居している場合はビルの名称・階数等を記入してください。

2. 氏名
 法人名を記載してください。
 個人事業主の方は氏名をご記入のうえ、屋号の記入をしてください。

令和〇年〇月〇〇日
令和〇年度 償却資産申告書 (償却資産課税台帳)
 宇佐市長 殿

宇佐市提出用
 所有者コード
 80001001

4. 事業種目
 事業種目を具体的に記入してください。
 (例:家具製造業、自動車販売業等)
 また、2以上の事業を行っている場合は主たる事業種目を記入してください。
 法人にあっては資本金又は出資金等の金額も記入してください。

5. 事業開始年月
 宇佐市内において、事業を開始した年月を記入してください。

6. この申告に回答する者の係及び氏名
 この申告について回答される方の係名・氏名及び電話番号を記入してください。

7. 税理士等の氏名
 経理を委託している税理士等の氏名及び電話番号を記入してください。

3. 個人番号又は法人番号
 マイナンバーを記入してください。

8. 短縮耐用年数の承認
 ~14. 青色申告
 7で『有』と記載の方は「耐用年数短縮承認通知書」の写しを添付してください。
 8で『有』と記載の方は「増加償却届出書」の写しを添付してください。
 9で『有』と記載の方は非課税に該当する資産の価格等は申告しないでください。
 10で『有』と記載の方は地方税法の条文でどれに該当するか備考欄に記載してください。
 11・12・13の取り扱いは地方税法では適用になりませんが、確認のために記載してください。

15. 市(区)町村内における事業所等資産の所在地
 宇佐市内における事業所等資産の所在地を記入してください。また、2以上の事業所等資産の所在地がある場合にはそれぞれの所在地名を記入し、その主たる番号を○で囲んでください。
 ★事業所等資産の所在地が1ヵ所だけでその所在地が「1.住所(又は納税通知書送達先)」と同一の場合には、本欄に記入する必要はありません。

16. 借用資産
 借用資産の有無について、該当する方を○で囲んでください。なお、「有」の該当する場合は、貸主の住所・名称及び電話番号を記入してください。

17. 事業所用家屋の所有区分
 事業所用家屋の所有区分について該当する方を○で囲んでください。

18. 備考(添付書類等)
 該当するものを○で囲んでください。「4」に該当する方は事業を行わなくなった年月日を記載してください。また、各種添付書類、廃業等による資産の譲渡先など、参考となる事項を記載してください。

資産の種類	取 得 価 額			
	前年前に取得したもの(イ)	前年中に減少したもの(ロ)	前年中に取得したもの(ハ)	計((イ)-(ロ)+(ハ))(ニ)
1 構築物	25,000,000		2,000,000	27,000,000
2 機械及び装置	10,000,000	500,000	2,600,000	12,100,000
3 船舶				
4 航空機				
5 車両及び運搬具	400,000			400,000
6 工具・器具及び備品	58,000,000	1,400,000	1,500,000	58,100,000
7 合計	93,400,000	1,900,000	6,100,000	97,600,000

15 市(区)町村内
 ① 大字 上田 1番地の22
 ② 大字 四日市 690番地
 ③

16 借用資産 (有・無)
 貸主の名称等
 〒874-0944 宇佐市大字長洲1-1
 ㈱〇〇リース TEL 34-×〇△×

17 事業所用家屋の所有区分
 自己所有・借家

18 備考(添付書類等) 資産の増減等
 資産の増減等(該当する番号に○印をつけてください)
 1、増加減少資産あり(別紙種類別明細書を作成してください)
 2、去年の申告資産に増減なし
 3、該当する資産なし
 4、廃業・解散・転出等(年 月 日)
 売却先名称
 住所・電話
 5、その他(具体的に記入してください)

第二十六号様式

記入する必要はありません。

前年度に取得した資産を申告し忘れていた場合は、「前年中に取得したもの」の中に加えてください。